

2012 年度事業報告

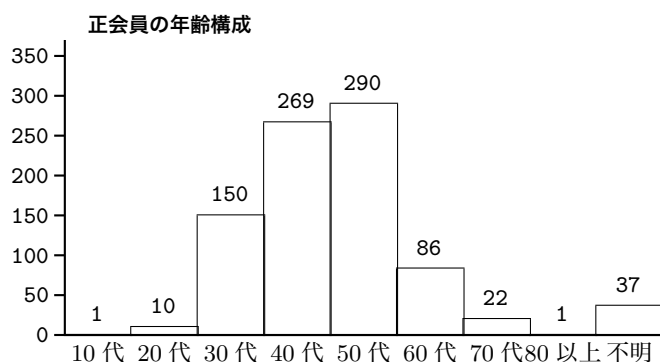
1. 会員

2013 年 3 月 31 日現在の会員状況は次の通りである。

正会員	866名	団体会員	7団体
名誉会員	1名	賛助会員	6社
学生会員	100名		
準会員	23名		

2012 年 3 月 31 日時点での正会員数は 908 名であり、そこから 42 名減少したことになる。

正会員の年齢構成をつぎのグラフに示す。50 才を越える正会員が 45%程度、40-49 才の正会員が 30%程度、30-39 才の正会員は 20%程度である。なお、20 代の正会員が少ないが、学生会員の多くは 20 代であろう。



2. 会議の開催

2.1 総会 (2012 年度)

日 時： 2012 年 6 月 7 日 (木) 18:00~19:00

場 所： 関西学院大学東京丸の内キャンパス (サピアタワー 10 階)

出席者： 代表会員 39 名 (委任状を含む) (代表会員総数 41 名)

議 案： 第 1 号議案 2011 年度事業報告の承認の件

第 2 号議案 2011 年度決算の承認の件

第 3 号議案 2012-2013 年度役員選任の件

議決の定数を超える 39 名 (委任状を含む) の出席があり、柴山悦哉理事長を議長に、第 1 号議案、第 2 号議案を審議し、決算が適正であるとの 2011 年度監事の報告を受けて、満場一致でこれらを承認した。続いて第 3 号議案について審議し、役員候補者選挙で選出された役員候補者を役員として選任することも満場一致で議決した。

2.2 理事会・役員会

理事会は、第 7 回 (2012-05-15) から第 11 回 (2013-03-18) まで 5 回開催した。役員会は、第 6 回 (2012-05-15) から第 13 回 (2013-03-18) まで 8 回開催した。2012 年度の理事及び監事は次の通りである。

理事長 柴山 悦哉

理 事 明石 修 大山恵弘 加藤和彦 紀 信邦

栗原 聡 権藤克彦 滝本宗宏 立石孝彰

廣津登志夫 胡 振江 細部博史 丸山勝久
南出靖彦 吉岡信和
監 事 中谷多哉子 丸山 宏

2.3 評議員会

平成 24 年度 (2012-08-23) 評議員会を法政大学小金井キャンパスにて開催し、学会運営について討議した。平成 24 年度の評議員は次の通りである。

牛島和夫	大沢英一	大堀淳	大蒔和仁	大和田勇人
落水浩一郎	笈捷彦	片山卓也	佐々政孝	佐藤周行
佐藤雅彦	武市正人	田中英彦	田中譲	玉井哲雄
近山隆	土居範久	東倉洋一	都倉信樹	所真理雄
中島震	中島秀之	中田育男	西田豊明	疋田輝雄
平田圭二	深沢良彰	二木厚吉	二村良彦	古川康一
本位田真一	溝口文雄	森下真一	山本喜一	米崎直樹
米澤明憲				

3. 事業

3.1 機関誌編集

第 318 回 (2012-04-13) から第 322 回 (2013-02-08) まで、5 回の編集委員会を開催し、機関誌「コンピュータソフトウェア」第 29 巻 2～4 号および第 30 巻 1 号を発行した。これらは全て、サイバー増大号であり、冊子体とサイバーページ (電子出版) から構成した。また、「ネットワーク技術」(第 29 巻 2 号)、「ソフトウェア工学」(第 29 巻 3 号)、「ソフトウェア論文」(第 29 巻 4 号)、「サーベイ論文」(第 30 巻 1 号) の 4 回の特集を組んだ。

平成 24 年 3 月に本位田真一編集委員長が退任し、平成 24 年 4 月に新たに田中二郎編集委員長が就任した。

解説論文や解説記事の充実を図った。その結果、第 29 巻 2 号から第 30 巻 1 号までの合計で、解説論文 20 編、ソフトウェア紹介 1 編、フォーラム 0 編が掲載された。

平成 21 年 6 月 4 日に導入されたレター論文には多くの投稿があった。第 29 巻 2 号から第 30 巻 1 号までの合計で、12 編のレター論文が掲載された。

2005 年度から開始した読者モニタ制度をアナウンスし、応募者の中から選定された 3 名のモニタから機関誌および各記事に関するさまざまなフィードバックを得た。

第 17 回論文賞と第 4 回解説論文賞に関しては、研究論文賞選定委員会と解説論文賞選定委員会を設置し、授賞論文の選定を進めた。

2012 年度の編集委員会の構成は次の通りである。

編集委員長	田中二郎				
編集副委員長	鯨坂恒夫	権藤克彦			
編集顧問	上田和紀	竹内郁雄			
編集担当理事	権藤克彦	細部博史			
編集委員	青木利晃	明石修	石川冬樹	和泉順子	伊知地宏
	岩崎英哉	亀山幸義	河内谷清久仁	栗原聡	河野恭之
	河野健二	小宮常康	沢田篤史	首藤一幸	住井英二郎
	関浩之	高橋伸	滝本宗宏	豊田正史	並木美太郎

西崎真也 番原睦則 胡振江 増原英彦 松原繁夫
 真野健 丸山勝久 美馬義亮 山本章博 結縁祥治
 鷺崎弘宣

3.2 企画委員会

第1回(2012-06-19)から第3回(2013-03-11)までの企画委員会を開催し、各種の企画にあたった。2012年度の企画委員は次の通りである。

企画委員長	廣津 登志夫				
企画担当理事	廣津 登志夫	吉岡 信和	丸山 勝久		
企画委員	青柳 滋己	網代 育大	栗原 聡	來間 啓伸	
	杉木 章義	中野 圭介	福田 茂紀	前田 俊行	
	宮下 芳明	廣海 緑里	横山 大作	米澤 拓郎	
	石尾 隆	大平 雅雄	大森 隆行	番原 睦則	
	満田 成紀				

3.3 大会

2012年8月22日～24日に、法政大学小金井キャンパスにおいて第29回大会を開催した。今大会の特徴は、登壇発表者の条件を緩和したことと、特別講演に力を入れたことである。これまでは登壇発表者は会員である必要があったが、今大会では発表件数の増加を図るため、共著者に会員が含まれていれば非会員でも登壇発表できることとした。

大会本体の参加者は171名(招待講演者:1名,正会員:87名,学生会員:15名,一般非会員:11名,学生非会員:57名)であった。招待講演は、IIJイノベーションインスティテュート代表取締役社長の浅羽登志也氏による「インターネットのこれまでとこれから」であった。登壇発表件数は73件であった。この他、デモ・ポスターセッションの発表が8件あった。また、大会併設イベントとして、チュートリアル「仮想化技術最前線」とPPLサマースクール2012「関数型言語ベースの先進的Webフレームワーク」を開催した。

講演論文集はCD-ROM (ISSN 1348-0901)で刊行した。大会の詳細な内容は、学会誌記事「日本ソフトウェア科学会第29回大会報告」(寺岡文男著, Vol.30, No.1, pp. 3-8, 2012)で報告されている。

大会における優れた登壇発表に対して与えられる高橋奨励賞は、次の1件である。

- ・森畑 明昌(東北大学):「並列木縮約を用いたマクロ木変換器の並列評価」

第29回大会の役員は次の通りである。

大会委員長	柴山 悦哉				
運営委員長	劉 少英				
プログラム委員長	寺岡 文男				
広報委員長	福田 浩章				
プログラム委員	明石 修	五十嵐 淳	五十嵐健夫	岩崎 英哉	
	馬谷 誠二	大沢 英一	紙名 哲生	亀井 靖高	
	栗原 聡	光来 健一	志築文太郎	杉山 安洋	
	住井英二郎	高橋 和子	田辺 良則	千葉 滋	
	中野 圭介	並木美太郎	長谷川真人	番原 睦則	
	廣津登志夫	福田 浩章	細部 博史	森畑 明昌	

八杉 昌宏 結縁 祥治
大会担当理事 胡 振江 栗原 聡

3.4 講習会

下記のチュートリアルを開講した。

- (1) 「仮想化技術最前線」(2012-08-24)
- (3) 「ストリームコンピューティングの基礎と実践」(2012-11-27)
- (2) 「スーパーコンピュータ『京』を支える最先端ソフトウェア技術」(2013-03-13)

3.5 研究会

2012年度は、次の8研究会が活動した。各研究会の主な活動は下記の通りである。

- (1) 「プログラミング論」研究会 (主査: 千葉 滋)
国際シンポジウム FLOPS2012 主催 (2012-05-23~25)
サマースクール PPL Summer School 2012 主催 (2012-08-21, 大会併設)
大会研究会セッション開催 (2012-08-22~24)
ワークショップ PPL2013 主催 (2013-03-04~06)
- (2) 「マルチエージェントと協調計算」研究会 (主査: 大沢 英一)
合同ワークショップ & シンポジウム JAWS2012 共催 (2012-10-24~26)
大会研究会セッション開催 (2012-08-22~24)
- (3) 「インタラクティブシステムとソフトウェア」研究会 (主査: 五十嵐 健夫)
ワークショップ WISS2012 主催 (2012-12-06~08)
大会研究会セッション開催 (2012-08-22~24)
情報処理学会インタラクシオン 2013 協賛
- (4) 「ソフトウェア工学の基礎」研究会 (主査: 杉山 安洋)
ワークショップ FOSE2012 主催 (2012-12-13~15)
大会研究会セッション開催 (2012-08-22~24)
- (5) 「インターネットテクノロジー」研究会 (主査: 明石 修)
ワークショップ WIT2012 主催 (2012-05-31~06-01)
コンファレンス IC2012 共催 (2012-11-15~16)
大会研究会セッション開催 (2012-08-22~24)
コンピュータソフトウェア特集号 (2013-05 刊行)
- (6) 「ディペンダブルシステム」研究会 (主査: 光来 健一)
ワークショップ DSW2012 開催 (2012-12-11~12)
大会研究会セッション開催 (2012-08-22~24)
- (7) 「ネットワークが創発する知能」研究会 (主査: 中島 秀之)
ワークショップ JWEIN2012 開催 (2012-08-29~31)
SIG-EIN & JSAI SIG-DOCMAS 合同合宿 主催 (2012-12-13~15)
- (8) 「ソフトウェアシステム」研究会 (主査: 千葉 滋)
オンラインプロシーディングを整備し、解散の準備を完了した。
2012年度末にて解散。

3.6 共催・協賛

会議等の共催・協賛・後援の承認件数は以下の通りであった。

共催：0件 協賛：14件 後援：1件

3.7 広報関係

本学会の Web ページ (<http://www.jsst.or.jp/>) および会員メーリングリスト (jsst_members@jsst.or.jp) を通じて、会員への情報提供を行った。

3.8 基礎研究賞

ソフトウェア科学分野の基礎研究において顕著な業績を挙げた研究者に対して、基礎研究賞を授与しその功績を称える制度を 2008 年度に設けた。5 年目にあたる 2012 年度は、以下の 2 名を選定した。

- ・ 暦本 純一 氏 (東京大学情報学環) 授賞業績：実世界指向ユーザインタフェースに関する研究
- ・ 湯浅 太一 氏 授賞業績：実時間ガベージコレクションに関する研究

2012 年度の基礎研究賞選定委員会の構成は次の通りであった。

柴山 悦哉 (理事長)

田中 二郎 (編集委員長)

大堀 淳 加藤 和彦 寺岡 文男 中島 震 橋田 浩一

3.9 功労賞・フェロー

学会活動に対して特に貢献が顕著と認められる会員に対し功労賞を、ソフトウェア科学の分野における発展に対して特に貢献が顕著と認められる会員に対しフェローの称号を授与し、その功績を称える制度を 2004 年度に設けた。

5 回目にあたる 2012 年度は、功労賞を以下の 2 名に授与した。

- ・ 玉井 哲雄 氏 (法政大学)
- ・ 本位田 真一 氏 (国立情報学研究所)

また、フェローの称号を以下の 2 名に授与した。

- ・ 阿草 清滋 氏 (京都大学)
- ・ 徳田 英幸 氏 (慶應義塾大学)

2012 年度の功労賞選定委員会およびフェロー選定委員会の構成は次の通りであった。

加藤 和彦 (委員長)

明石 修 片山 卓也 権藤 克彦 柴山 悦哉 田中 二郎

土居 範久 橋田 浩一 廣津 登志夫 米澤 明憲

4. 選挙

2013 年度定時社員総会で任期満了となる役員 (理事 7 名、監事 1 名) に対する選挙は、2012 年 11 月 15 日に公示され、2013 年 1 月 10 日まで候補の推薦を受け付けた。その結果、役員選挙候補者 (理事) として 7 名、役員選挙候補者 (監事) として 1 名の立候補があった。全員が役員候補者選考委員会にて候補者として選考され、2013 年 3 月 1 日から 2013 年 3 月 14 日までの期間の正会員による投票に付された。同時に役員選挙候補者選考委員の正会員による審査も行われた。結果は次の通りであった。

役員候補者 (理事) 選挙 (有効投票数 150)

明石 修 (148) 滝本宗宏 (148) 立石孝彰 (149)

増原英彦 (149) 丸山勝久 (148) 吉岡信和 (146)

脇田 建 (147)

役員候補者(監事)選挙(有効投票数 150)

丸山 宏(150)

役員候補者選考委員 不信任票(有効投票数 150)

井田哲雄(2) 井上克郎(1) 佐藤雅彦(1) 近山 隆(1) 中島秀之(2)

役員選挙候補者(理事・監事)全員がそれぞれ、社員総会における役員選任の対象候補者として選出され、また、役員候補者選考委員全員が信任を受けた。

なお、この選挙における選挙管理委員会の構成は次の通りである。

選挙管理委員会

亀山幸義 高橋和子 橋田浩一